

環境教育 小学校



小学校 総合
ど〜する?地球のあした
川はゴミ箱!?

🕒 15分

環境悪化の原因は人間の暮らしにある! 汚れた川の浄化への取り組み

川や海の汚染が深刻な問題になってきていますが、その原因は「人間の生活排水やゴミの不法投棄」です。昔はきれいだった川が、人間の生活圏になることでどんどん汚れていき、魚や水中生物・植物や虫までもが住めない環境にまでなっています。この番組では、それらの川の近くに住んでいる人の浄化への努力を考えることで「環境問題への取り組み」について考えます。

番組活用のポイント

人間が生活しているすぐ近くの川の環境が、知らないうちに悪化している事実を考える

川は、人間の生活にとってかけがえのない自然でした。その川が人間の生活によって自然浄化できないほど汚れてきている事実を知ること、人のくらしが自然環境にどれだけのダメージを与えているかをこの番組では取り上げています。

人が破壊した自然を、人の努力でもとの自然に取り戻す学びを

一度、悪化した川の汚れは、長い間の人間の生活排水やゴミの投棄によるものですが、その川をもう一度生物の住めるきれいな川に戻そうという努力をし続ける人たちがいます。自治体などが取り組んでいることやボランティアで取り組んでいる人たちがいることを知ることで自分たちには何ができるのかを考えさせることができます。大きな浄化施設やゴミ回収などは自治体が行い、浄化に効果を上げています。葦を川岸に植えることで少しずつ効果を上げている事実も紹介されます。これらは、子どもたちにとって「何をしたらよいか」と行動や意識の方向付けにつながります。

自分たちにもできることがあるという事実を知る

番組の中に出てくる大和川は、奈良から大阪の平野部を経て大阪湾に注いでいます。水質は「日本一汚い川」にランクづけされています。しかしその川をきれいにしようとする努力を惜しみなく続けている人たちもいることを知ることで将来へ向けての環境教育の意識づけができます。



北海道石狩市立紅南小学校
教諭 加藤悦雄



奈良県・大阪府を流れる大和川



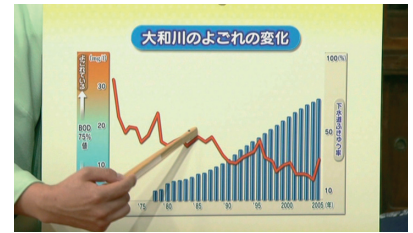
水の透明度を調べるとうし度計

環境教育

学習展開例

(ねらい) 人間のくらしが川に与えたダメージを知ること、これから将来、自分たちが川の浄化につながる筋道を見つける意識をもつことができる。

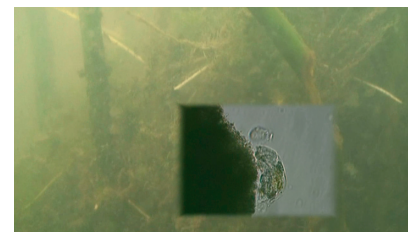
	学習活動	指導上の留意点
関心	川はきれいか汚いかどちらだろう (3分)	◎近くの川や海はきれいかどうか思い出させる。
活動	・川が汚れている理由を考えよう。 (3分)	◎人間の生活の中から川が汚れている理由を見つけさせる。その際に、水質・河原のようすに分けて考えてもよい。
意識づけ	一度汚れた川はきれいになっていくのだろうか ↓ (4分) そのままでは元に戻らないのではないか	◎一度、汚れた川はその後、どうなっていくのかを考えさせる。
番組視聴	・川の汚れの原因は、生活排水や人間が出したゴミによるもの、それをきれいにするには様々な手段があることを知る。 視聴 (約20分)	◎メモは、長い文章になると番組が視聴できなくなるので、一言程度またはキーワード程度でよいことを事前に指導しておく。
考える	◎川が汚れた理由を発表しよう。 ・川の水が汚れたのは生活排水のせいだ。 ・河原にゴミが散乱しているのは人間が出したからだ。 ◎どうしたら川がきれいになるか考えよう。 ・生活排水をきれいに流す。 ・ゴミを出さない。 ・葦のような植物を植える。 (10分)	◎視聴後に、気がついたことを付せんや意見で全体の場で出すことにより、情報を共有し、問題に対する課題解決意識をもたせる。 →ここから高学年なら、自然環境の問題まで発展させてもよい。
まとめ	これからどうすることが大事か考える (5分)	◎自分たちの意識を強くさせるために、ノートに書かせてもよいし、意見を言わせてもよいだろう、またグループで話し合っ発表することもできる。



大和川の水の汚れの変化



追いつかないゴミひろい作業



葦を植えて浄化してきた水質

より効果的に番組を活用するために

授業後には、地元の川や海の水質を浄化する努力をそれぞれ調べてみることも大切です。ゴミのリサイクル問題を扱った『ど〜する？地球のあした リサイクルでゴミはなくなる？』も関連づけて視聴されることをおすすめします。



大阪府堺市立錦小学校 4年生のみなさん
川をきれいにするには？